

撫順 - 加害と再生の地から現代と未来を考えるシンポジウム

中国撫順市、ここは日本軍による住民虐殺の平頂山事件が起き、撫順戦犯管理所で日本軍の兵士が人間の心を取り戻したところです。

80歳をこえた平頂山事件の被害者（幸存者）をお招きし、お話を聞き、東アジアにおける平和構築のテーマでパネルディスカッションを行います。

あなたも、日本の学校できちんと教えられていない日本と中国の過去・現在・未来について一緒に考えてみませんか。

日時 9月13日(土)

開場 午後12時30分～ 開会; 午後1時～

会場 東京大学 弥生講堂（一条ホール）

地下鉄・南北線「東大前」駅下車徒歩1分、千代田線「根津」駅下車徒歩8分

「東京大学弥生講堂・一条ホールまでの案内図」



資料代 一般1000円、学生500円

問い合わせ先 中国人戦争被害者の要求を支える会 電話03-5379-2607

プログラム

- ・平頂山事件・撫順戦犯管理所の紹介
- ・平頂山事件幸存者のお話
- ・パネルディスカッション

《パネリスト》

溥波（撫順市社会科学院院長）

伊藤真（伊藤塾塾長・法学館所長）

元日本軍兵士（高橋哲郎さん）

歴史学者（井上久士さん）

主催 「撫順」から未来を語る実行委員会

★被害者の来日費用は全て寄付によって賄われています。シンポジウムの賛同人を募集しています。

賛同金団体 一口3,000円 個人 一口1,000円 振込先 0150-0-335468

名義 「撫順」から未来を語る実行委員会